

ゆのまえ 議会だより



No. **34**
令和3年
5月15日発行

「住民に見える議会」
「住民が参加しやすい議会」
「議会力・議員力の向上」を実現する



静かに運行再開を待つ湯前駅



P2 特集 1

くまがわ鉄道の現状

P4 特集 2

長谷町政の総合計画始動

P5 特集 3

議会だより初の全国表彰

P6 本会議

過去最大の当初予算

P10 一般質問に4人が登壇

P15 全員協議会

P16 委員会

P18 研修・議員派遣

P19 一部事務組合

P20 住民の声

今号の写真

令和2年7月豪雨以降、改札口が閉まり、レールが錆びついた『くま川鉄道湯前駅』です。「鉄道再開を待つ今こそ、知恵を出す良い機会だよ」と語りかけそうな湯前駅は、いま静かにその時を待っています。

特集1につづく・・・

特集1

くま川鉄道の部分運行に向けて

再生協議会での復旧急ぐ

令和2年7月豪雨で被災した公共交通くま川鉄道。本鉄道の再生協議会を中心に全面運行に向けた準備が進んでいきます。今回の特集では、全員協議会で報告を受けた最新情報を、町民の皆様にお知らせします。

被害状況

くま川鉄道は、人吉温泉駅～湯前駅の全線24・8kmのうち、人吉温泉駅～肥後西村駅の5・9km区間で、広範囲に土砂が流入し、球磨川第四橋梁(国登録有形文化財)が流失するなど、甚大な被害を受けました。保有する全5車両が浸水しました。同鉄道の被害額は46億円前後とみられています。

バス運行状況

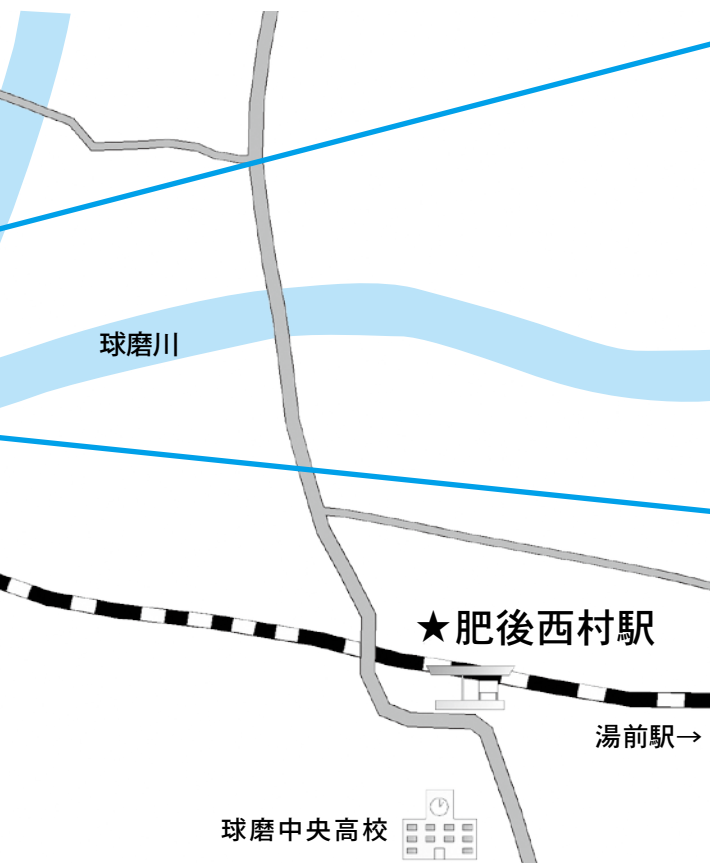
令和2年7月20日から代替バスの運行が始まりました。沿線4つの高校に通う生徒(約850人)が利用しています。上下各5～7本(平日および土曜日)、大型バス10台と小型バス2台で運行しています。



②波打つ線路



①流された球磨川第4橋梁



11月に部分運行再開へ

肥後西村駅～湯前駅の区間

くま川鉄道株は3月24日、運休が続く全線24・8kmのうち、肥後西村駅～湯前駅の18km区間で、11月ごろの運行再開を目指す方針を明らかにしました。

再開を目指す区間は、被害が比較的小さいものでした。同社は水没した車両の修理などを進め、保有5両のうち

乗客数に応じた3両で運行する方針です。

国が復旧費の97・5%を実質負担。残る2・5%の地元負担分を、県と地元市町村で折半します。

国の制度は、「鉄道の運行」と「線路など施設の保全管理」を分ける「上下分離方式」の導入を前提としており、施設を保有する新法人を、県と10市町村で構成することも申し合わせています。

くま川鉄道再生協議会

くま川鉄道復旧のため、令和2年12月25日に「くま川鉄道再生協議会」が設立されました。事務局は、あさぎり町の生涯学習センター内に設置され、あさぎり町、湯前町、人吉市から各1人が出向し、3人体制で業務を行っています。

再生協議会では、災害復旧費に係る負担割合の協議の他、国の補助金申請要件である上下分離方式の在り方や、長期運行確保計画の策定、国・県、その他の関係機関への要望内容などを協議します。

人吉球磨地域の10市町村と県、くま

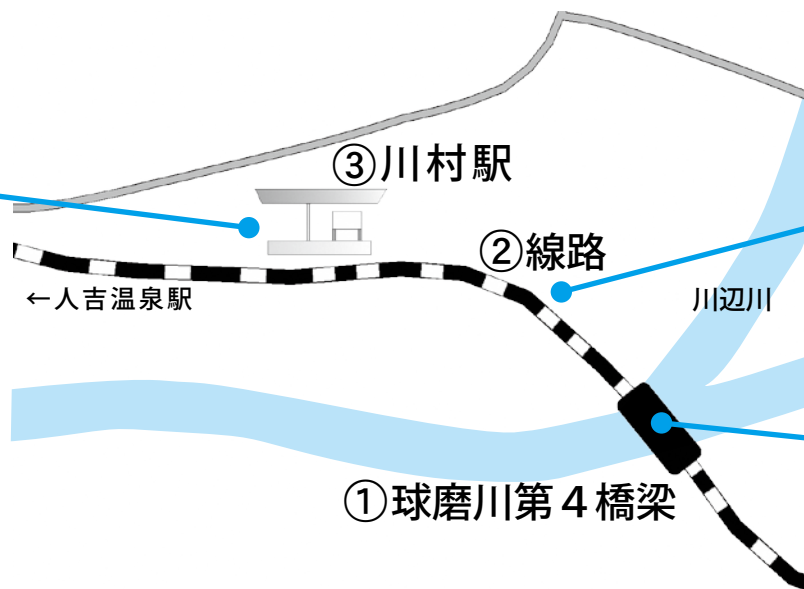
川鉄道株で構成。会長に田嶋徹・副知事、副会長に松岡隼人・人吉市長と長谷和人・湯前町長がそれぞれ選ばれています。



再生協議会事務局
(右が本町の荒木主幹)



③壊れた川村駅



甚大な被害を受けた「肥後西村駅～川村駅」区間

特集2

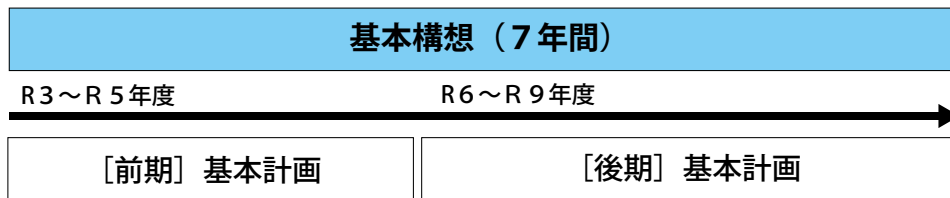
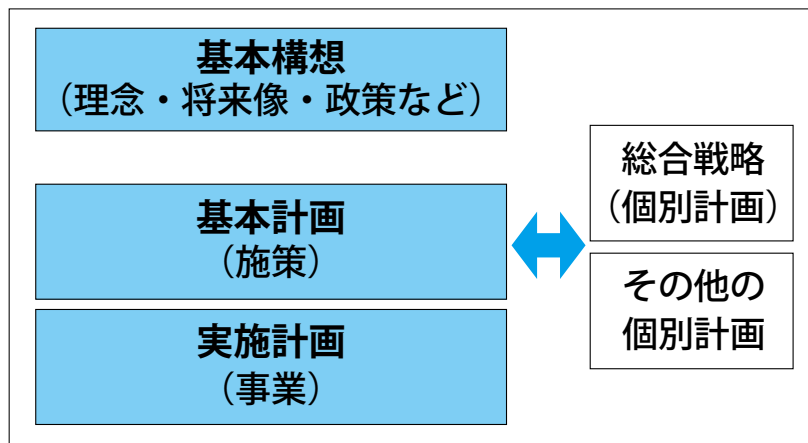
第6次湯前町総合計画

長谷町政の総合計画始動

7年間の町づくり戦略

町民へのまちづくりアンケート調査、パブリックコメント、湯前町振興計画策定審議会による町長への答申などを経て、3月定例会で第6次湯前町総合計画を議決しました。長谷町政による7年間の町づくり戦略がいよいよ始動します。

第6次湯前町総合計画



基本構想の計画期間は、町長の任期に合わせて7年に見直し、令和3年度から令和9年度までの計画としています。

湯前町振興計画策定審議会委員

- | | | |
|-----|-------|-------------|
| 会長 | 柳瀬 鐵男 | 区長会長 |
| 副会長 | 瀧本 明吉 | J A くま理事 |
| 委員 | 永井 賢吾 | 上球磨森林組合事業部長 |
| // | 栗原 礼 | 商工会理事 |
| // | 吉村 光 | 老人クラブ連合会長 |
| // | 荒木 玲 | 地域婦人会副会長 |
| // | 橋本 康平 | 青年団長 |
| // | 蓑田 和文 | 肥後銀行湯前支店長 |
| // | 伊東 龍一 | 熊本大学教授 |
| // | 桂 英昭 | 前 熊本大学准教授 |



湯前町HP総合計画

特集3

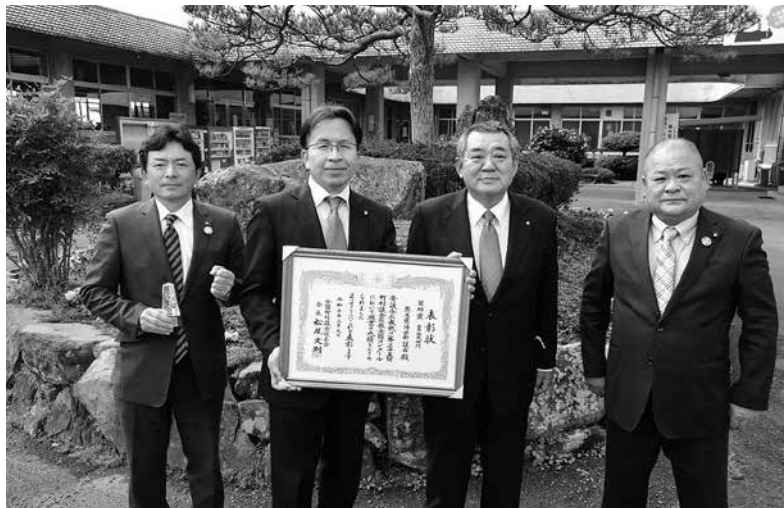
全国町村議会広報コンクール 本町議会だより初受賞 議会改革の成果

本コンクールは毎年度開催されており、全国から311町村議会の応募がありました。町村議会広報表彰審査会委員による第1次審査を経て、令和3年1月8日に開催された第2次審査(議会広報表彰審査会による最終選考)に進み、最優秀賞の埼玉県寄居町議会を含む入選10紙のほか表紙デザイン賞3紙、奨励賞8紙が選考されました。本町議会だよりは2度目の挑戦で奨励賞(企画構成部門)に選ばれ、熊本県では唯一の受賞となりました。

各賞	町村議会名		対象紙
入選	最優秀賞(第1位)	埼玉県寄居町議会 (第2位以降、省略)	10紙
表紙デザイン賞	金賞(第1位)	福岡県芦屋町議会 (第2位以降、省略)	3紙
奨励賞受賞	企画・構成部門	熊本県湯前町議会	3紙
	編集・デザイン部門		3紙
	言語・文章部門		2紙



全国町村議会議長会HP関連ページ



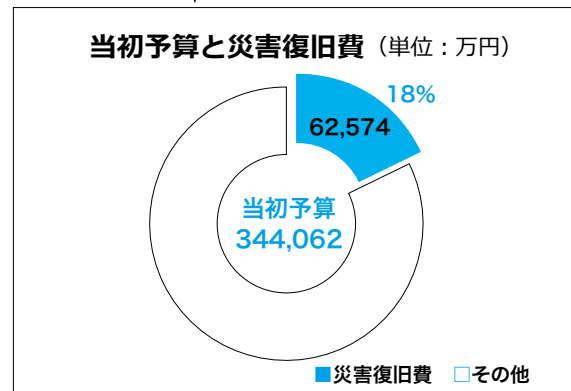
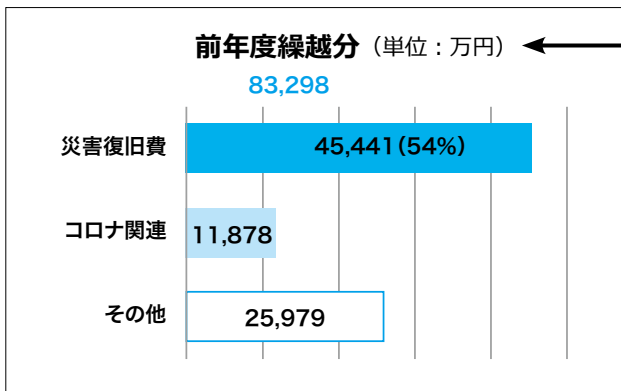
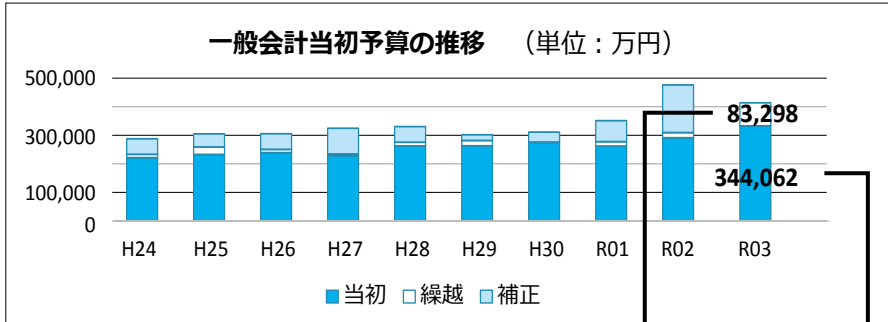
更なる高みを目指す当時の委員会メンバー
(左から金子議員、椎葉議員、森山議員、遠坂議員)

過去最大の一般 会計当初予算

73億60万円

3月定例会は、9日から19日まで11日間の日程で開かれました。議員4人が一般質問を行い、令和3年度の当初予算や令和2年度の補正予算、条例改正などを審議しました。また、1月15日と2月4日に臨時議会を開催しています。令和3年度の当初予算は、過去最大となりました。増額の主な要因は、令和2年7月豪雨災害や新型コロナウイルスの対策費によるものです。

令和3年度予算



援 商工業への新たな支

事業承継サポート事業補助金

存目

湯前町後継者対策に関する条例を廃止し、これに代わる商工業者向けの新規事業に取り組みます。

事業承継に必要な就業期間において、1年目に月額10万円、2年目に8万円、3年目に6万円を支給します。支給期間は、最長3年です。

この事業は、湯前町農業後継者等支援事業補助金との整合を図っています。町は、商工業者の計画的で確実な事業承継を促進していきます。



詳細は町HPを参照

整備 地域優良賃貸住宅を

設計業務委託料を計上

存目

実施計画では、令和4年度に2戸、令和5年度に2戸を整備する予定です。

本町における地域優良賃貸住宅とは、地域における居住の安定に特に配慮が必要な子育て世帯向けの賃貸住宅です。

町内には現在9戸の賃貸住宅があります。



中里団地そばの建設予定地

ふるさと納税(寄附金)を活用した事業

住宅リフォーム補助金 360万円

空き家リフォーム等補助金 290万円

住宅リフォームと空き家リフォームの事業は、移住定住促進を図るため、平成30年度から令和2年度まで実施しました。3年間の事業検証を踏まえ、令和3年度からは、一部見直しを行い、継続して実施します。



詳細は町HPを参照

用途 年度	住宅リフォーム		空き家リフォーム
	申請	採択	申請/採択
H30	10件	5件	リフォーム1件
R01	17件	4件	リフォーム3件、解体1件、家財道具1件
R02	11件	4件	リフォーム2件、解体1件

LED防犯灯設置工事 130万円

主に小中学校の通路路や区長からの地区要望箇所を考慮して、20基を設置します。

住民が安全で安心して暮らせる町にするため、3年間で390万円分の設置を計画しています。

修学旅行補助金 105万円

小中学生の修学旅行費用の一部を支援することで、子育てを支援します。

- ◎小学校1万円/人
- ◎中学校2万円/人

入学祝金 89万円

小学校または中学校に入学する児童・生徒の養育者に入学金を交付し、子育てを支援します。

- ◎小学校1万円/人
- ◎中学校2万円/人

小学校図書費 60万円

中学校図書費 60万円

これまで50万円だった予算に対して10万円を増額します。小中学生の読書意欲を高め、心豊かな魅力ある人格形成を促進します。

小中学生夢創出事業 300万円

小中学生が一流のスポーツや文化などに触れることができる機会を設けることで、夢を持つきっかけづくりや将来の可能性を広げます。

出生祝金 300万円

出生児1人につき15万円を交付し、子育てを支援します。

高校などの通学定期券を補助

財源は敬老祝金の一部を活用

284万5000円

くま川鉄道を通学で利用する子育て世帯の負担を軽減します。

補助内容は、人吉球磨管内の高校(九州技術教育専門学校を含む)に通学するための定期代に対し、3分の1以内で補助金を交付します。補助期間は、令和3年度から「くま川鉄道」が全面復旧するまでです。

交通機関は、「くま川鉄道」または「九州産交バス」が対象です。

財源の一部は敬老祝金で、1人あたり1万円から6000円に減額した分を、定期券の補助として活用します。

主な補正予算

新型コロナウイルス
地方創生臨時交付金
を活用

機械管理倉庫建築工事
300万円

畜産センター敷地内に機械倉庫を建築する工事費1297万5000円を10月臨時会で議決しました。今回、工事費の不足分(排水側溝、電気、給水設備など)を追加します。



改築される倉庫

畜産センター修繕費
300万円

畜産センター内の和室18帖の改修や照明のLED化などを行います。

農業公社の事務所を畜産センター内の一角に移転し、農業機械の管理などを行う検討が進められています。
(新型コロナウイルス地方創生臨時交付金事業)



改修前の畜産センター

農業用機械を追加購入
180万円

農業経営を継続するための支援事業として、雑木や竹などの樹木粉碎機を購入します。購入した農業用機械は、畜産センター敷地内の倉庫で保管し、農業公社が維持管理を行う予定です。

今回購入する機械
◎樹木粉碎機1台
180万円

購入予定契約済みの機械

◎自走式草刈機(法面用)3台
99万8000円

◎自走式草刈機(畦畔用)3台
86万9000円

◎ラジコン草刈機2台
193万2000円

◎アーム式草刈機1台
150万1000円

(全員協議会 15ページ参照)

工事請負契約の変更

下里御大師堂保存修理
工事 5555万円

2月臨時会で工事請負契約金を5555万円に、3月定例会で工期を令和4年2月28日に、それぞれ変更しました。



着工した御大師堂

主な条例改正

湯前町情報通信関連事業整備基金条例の制定

宅内などで使用しているIP告知端末が生産中止になるため、現在の行政防災情報システムは、令和6年度から新しいシステムへ移行する予定です。また、役場が運営しているインターネット接続サービスの民設民営化も検討されます。

多額の予算となる見込みであり、一般財源の不足を補うための基金を設置する条例を制定しました。
(委員会 16ページ参照)

湯前町介護保険条例の改正

第8期介護保険事業計画(令和3年度から5年度まで)の月額保険料※は、基準額6200円に据え置くことになりました。

各種介護予防事業の取り組みに併せて、公民分館における「いきいき運動クラブ」の活動などの効果により、要介

護・要支援の認定者数および認定率を抑えることができるとした。
※・65歳以上の第1号被保険者が対象

湯前町敬老祝金支給条例の改正

敬老祝金の財源を、令和3年度に創設する高校生の通学費補助金の財源として活用したいとの提案を受け、祝金の額を1万円から6000円に減額改正しました。

人事案件

湯前町政治倫理審査会委員の任命
6人を同意(任期2年)

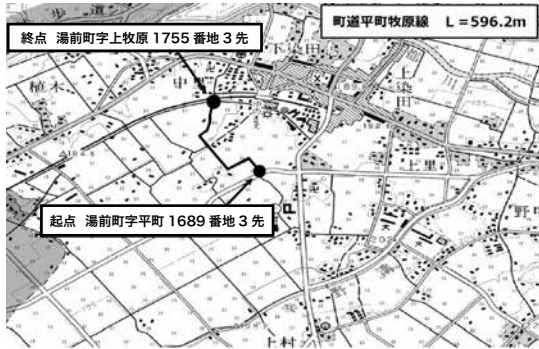
- ◎深水 俊市さん(野中田3)
- ◎井上 朋和さん(馬場)
- ◎中武 義秋さん(上里3)
- ◎金山 充さん(下村)
- ◎右田 秀美さん(上里3)
- ◎蓑田 啓悟さん(蓑田法律事務所 弁護士)

その他の議案

5施設の指定管理者
が決まる

公募によらない3年契約が4施設

公共施設	指定管理者	公募	期間
湯前町高齢者生活福祉センター	(福)湯前町社会福祉協議会	なし	3年
湯前町農産物加工施設(塩蔵庫・本工場)	(農組)下村婦人会市房漬加工組合		
湯前町グリーンパレス	ゆのまえ湯楽里(株)		
湯前町避難防災交流施設	湯前町観光物産協会		
湯前駅レールウイング複合施設	(一社)奥球磨スマートタウン研究所	あり	



町道路線の認定
農道(平町線)

上里3区(役場近く)と中里2区(踏切)の区間、延長596.2mを、町道に認定しました。

総務省が令和元年5月にとりまとめた「公の施設の指定管理者制度の導入状況などに関する調査結果の公表」では、5年契約が大半の71.5%を占めています。
次からは5年契約も視野にいられて検討したい旨の答弁がありました。

議案審議など 賛否一覧

議案	吉田 精二	西 靖邦	遠坂 道太	椎葉 弘樹	森山 宏	黒木 龍次	味岡 恭	金子 光喜	山下 力	倉本 豊	審議結果 (賛成：反対)
湯前町情報通信関連事業整備基金条例の制定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	可決 (9:0)
湯前町後継者対策に関する条例を廃止する条例の制定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	可決 (9:0)
湯前町敬老祝金支給条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○	○	○	×	-	可決 (8:1)
第6次湯前町総合計画基本構想の策定	○	○	○	×	○	○	○	○	○	-	可決 (8:1)
第6次湯前町総合計画前期基本計画の策定	○	○	○	×	○	○	○	○	○	-	可決 (8:1)
令和3年度湯前町一般会計予算	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	可決 (9:0)
令和3年度特別会計予算	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	可決 (9:0)
令和2年度一般会計補正予算	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	可決 (9:0)
令和2年度特別会計補正予算	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	可決 (9:0)
湯前町政治倫理審査会委員の任命につき同意を求めること	無記名投票									-	同意
上記以外の議案	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	可決 (9:0)

○：賛成 ×：反対 -：採決なし（議長は採決に加わりません）

一般質問に4人が登壇

執行部の考えを質す

3月定例会の一般質問では、議員4人が執行部の考えを質しました。今回の一般質問も新型コロナウイルスの議会対応により自席から行いました。

質問者(登壇順)	質問項目	ページ
金子光喜	①災害復旧と将来に向けての対策	11
遠坂道太	①教育環境の整備 ②新型コロナワクチン接種	12
椎葉弘樹	①7年後の町の未来を創造するためにやるべきこと	13
山下力	①くま川鉄道の完全復旧に向けての取り組み	14
吉田精二		
西靖邦		
森山宏		
黒木龍次		
味岡恭		
倉本豊		

議会の傍聴

議会傍聴は、受付で名前を書けば、どなたでも入場できます。議会傍聴により、執行部と議員の緊張感が高まり、質疑や答弁のレベル向上が期待できます。お誘いあわせの上、ぜひご来場ください。

一般質問のYouTubeライブ配信(生放送)を行っています。

一般質問は、これまでIP告知端末放送(2チャンネル)とYouTube動画による録画配信を行っています。これに加えてYouTubeのライブ配信(生放送)も視聴できるようになりました。パソコンやスマートフォン、タブレット端末から視聴できます。

◎ご自宅のIP告知放送
(2チャンネル)



◎YouTube動画
(「湯前町オフィシャル」で検索)

YouTube





金子 光喜 議員

問 災害復旧の進捗状況と今後の見通しは

答 農地と農業施設は田植えの時期に間に合わせたい



録画中継

要旨 令和2年7月豪雨に係る公共土木施設、農業施設

復旧基本方針および災害復旧ロードマップに対する進捗状況と今後の見通しは。

答弁 農地、農業施設災害復旧工事は、基本的に田植えの時期に間に合うように行うこととしている。

林道関係は、被災した5路線中2路線を令和3年度に着工の計画だが、残りの3路線は町道復旧の確認後となるので4年度以降になる。

建設水道課所管の町道は、猪鹿倉横谷線の地滑り箇所において未定だが、ほかは令和4年度および5年度での終了を見込んでいる。

要旨 地域住民や農家、林業者に対して、今後の対応の説明などは十分なのか。

答弁 農地耕作の見通しなどは聞き取りを行っている。また、施工業者と役場とで、農家の方に向いて工事の説明をする計画。

林業事業体にもしている。

要旨 今後も大量の土砂の流出や山腹および路肩や法面の崩落が想定されるが効果的な対応策は検討しているのか。

答弁 県管理の河川関係は、災害直後から対応している。牧良川上流のスリットダムでは、砂防堰堤に堆積した大量の土砂を搬出し完了している。都川の箇所も実施し、本年度の計画は終了している。

仁原川は多良木町側で対応する。流木などそのままの状態のところがあるので、来年の出水期までには、町の方で除去を実施したい。

関連質問 黒木議員

堆積土砂の撤去を仁原川の本町側でない理由は。

答弁 過剰に堆積していると認識していない。下流側を優先的に搬出した状況。再度確認する。



牧良川の土砂上げ工事



土砂や流木が残る下町橋



都川に残る流木

問 教育環境の整備



録画中継



遠坂 道太 議員

答

併設型の小中一貫教育に取り組む

要旨 小中一貫教育の取り組み状況は。

答弁 現在の湯前小中学校は、併設型であり、これは教育委員会が決議することができると。令和元年12月の教育委員会の中でひとつの方向性を示した方がいいということ、湯前小中学校は併設型の小中一貫校としている。

小学校の免許を持つ中学校の先生に、県のほうから兼務辞令を出してもらい、小学校で授業を行っている。

小中学校の教育水準は、郡市で上位の評価を受けている。小中一貫教育としての取り組みが、いい方向で影響しているのではないかと。

要旨 組合立の中学校を考えた場合は。

答弁 現在、教育環境、学習環境、生活環境、そして学校経営など、遜色なく運営されているので、組合立という考えはない。

問 新型コロナウイルスワクチン接種の体制は

答 関係機関と協議し万全な体制で行う

要旨 ワクチン接種体制の準備は。

答弁 湯前町では、集団接種を行う。接種場所は、密にならないように農村環境改善センターで行う。高齢者の一回目の接種を5月中旬から下旬に始める予定。

要旨 基礎疾患の方の把握は。

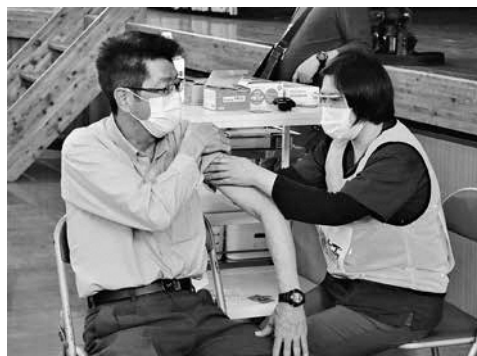
答弁 現在のところどのように把握するかは決めていないが、調査表の配布も考えられる。国からの通知の中に、自己申告でもよいとなつている。

要旨 町内の医院と公立多良木病院との連携は。

答弁 公立多良木病院、球磨郡医師会と協議を行い、万全な体制で接種を行っていきたい。



集団接種の会場「改善センター」



ワクチン接種のシミュレーション



椎葉 弘樹 議員



録画中継

問 7年後の町の未来を創造するためにやるべきことは

答 アンケートや行政評価は検討するが将来像はこのまま

要旨 総合計画アンケートは町民からさまざまな意見があるが、今後のアンケートの在り方を改善する考えはないか。

当課のほうに今後研究させ、採用を検討したい。

答弁 アンケートに関する町民からの意見も参考にしながら、改善しながら取り組んでいきたい。

要旨 毎年度、総合計画の行政評価を行い、達成状況を町民に公表する考えはないか。

答弁 アンケートに関する町民からの意見も参考にしながら、改善しながら取り組んでいきたい。

答弁 年度ごとの評価は行っていないが、総合計画においては今年度が最終年度なので、年度が明けた4月を目標に、この達成状況をきちんと

ご提案をいただいた若い世代へのWebアンケートも担

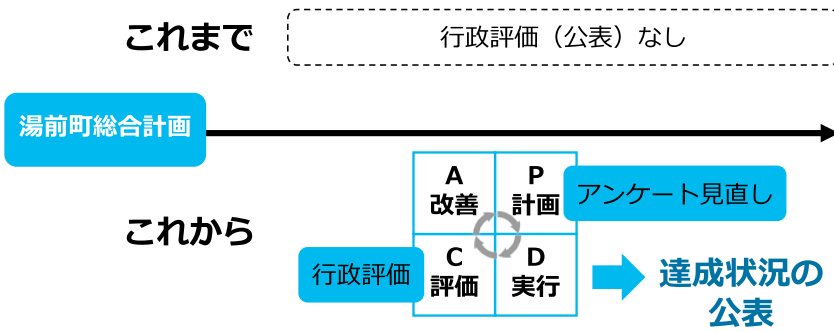
評したい。やはり施策を定めるならば、その目標値も必要になると考えている。ある程度の評価や公表は必要。

現在、コロナ禍や災害復旧など、事務量がたいへん増えているので、そのことも加味しながら、その在り方、やり方も含めて、検討したい。

要旨 第5次総合計画の基本構想では町づくりの将来像が明確に示されていないが、第6次総合計画では町民がイメージできる具体の将来像を示す考えはないか。

答弁 本町がより良くなっているために、いろいろな工夫を凝らしながら、知恵を出し合いながら、まちづくりを進めていくイメージで考えている。

これまでの第5次総合計画の部分で反省しながら、今回は第6次のほうにもその評価を加えながら、できる限りの中でやっていきたい。将来像が見えていないという指摘も受けているが、このままとさせていただきます。



【将来像】マイホームタウン？（故郷）

将来像とは「具体のありたい姿」
↓
どのような「故郷づくり」を目指すのか？



湯前町の将来像（ビジョン）を絵に描くとうなる

問 くま川鉄道の完全復旧に向けての取り組みは

答 全面運行再開は工事に3～4年かかる見込み



山下 力 議員



録画中継

要旨 部分・全面運行の再開時期は。

答弁 部分運行は、クリアすべき条件が整っていないこともあり、令和3年度中を目指したい。

全面運行は、復旧工事に3年から4年かかる見込みであると聞いている。なるべく早く完了できるよう努力したい。

要旨 運行再開が遅れた場合の教育・地域活性化への影響は。

答弁 教育に関しては、郡市外の高校へ生徒が流出することが懸念される。地域活性化に関しては、これまでも駅周辺を観光の拠点と位置付けて

イベントなどを実施してきた。地域経済に与える影響は非常に大きい。

要旨 人材育成基金を活用して、定期代の助成を鉄道復旧までの期間限定で3分の1から半額まで上乗せできないか。

答弁 基金の使い道の在り方、基金の目的に沿っているかを確認する必要がある。その他財源などを研究させていただいて、可能であれば、次の全員協議会または議会で提案したい。

関連質問 森山議員

部分運行の際の車両の輸送は、方法や費用を工面しているか。

答弁 具体的な方法は今考えている段階であり、見積もりもこれからである。



流出した球磨川第四橋梁



浸水した鉄道5車両(人吉駅)

全員協議会

2月4日、2月24日
3月8日、3月12日

主な協議事項

杵つき精米所の運用再開を検討

5つの案が示される

杵つき精米所(湯前町農産物加工施設)は、平成23年度に地域活性化交付金事業および市町村振興交付金事業を活用して建設しました。事業費は2425万円です。

平成24年度に運用を開始し、平成26年度までMOA自然農法湯前普及会が指定管理者として運営しました。

その後、平成28年1月から平成31年4月26日まで湯前町農業公社が指定管理者となりましたが、それ以降の精米所運営はできていません。

今後、担当課から示された5つの案を協議していきます。



再開を待つ杵つき精米所

農業公社事務所の移転を検討

法人としての方向性を示すのが先

移転の理由(下記①～③)が担当課より示されました。協議の中で「農業公社の方向性を示すことが先」である旨の指摘があり、継続課題としています。

【理由①】農作業受託事務の効率化

公社において農作業受託業務を担うこととなり、畜産センター内に事務所を移転したほうが、当該業務を効率的に実施できる。(本会議 8ページ参照)

【理由②】ハウス作業の効率化

畜産センター内に公社所有のハウスがあり、当該作業を効率的に実施できる。

【理由③】上下水道料・電気代の削減

畜産センターと共同で使用したほうが、上下水道代の基本使用料など、費用を削減できる。



移転が検討されている農業公社事務所

総務厚生文教常任委員会

2月15日、3月18日

次の所管事務を調査しました。

- ◎保健福祉課が所管する新型コロナウイルス感染症対策の現状
- ◎湯前町情報化計画

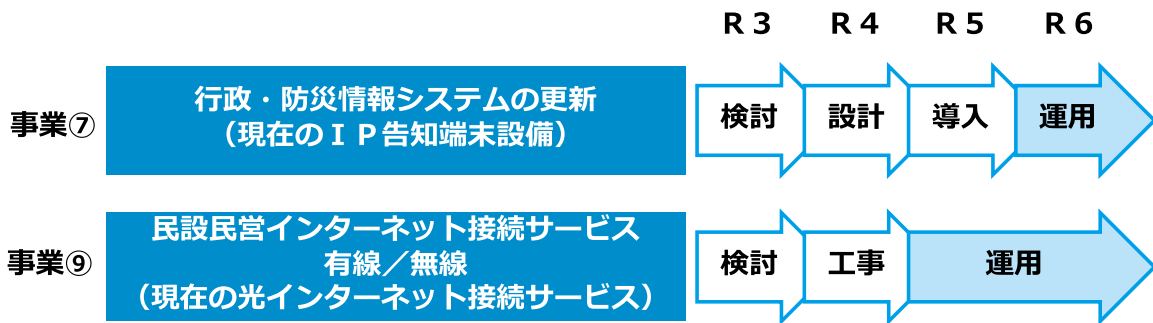
委員長	椎葉 弘樹
副委員長	吉田 精二
委員	倉本 豊、黒木 龍次、西 靖邦

湯前町情報化計画で13事業に着手

インターネット接続サービスの民設民営化も検討

情報化計画で示す13事業の中から、以下に示す「行政・防災情報のシステム更新(事業⑦)」と「民設民営インターネット接続サービス(事業⑨)」の調査を行いました。2つの事業の総事業費(概算)は約5億円です。現在、総務省の交付金事業を九州総合通信局と調整していますが、該当する交付金補助メニューがありません。

町民サービスをできるだけ低下させない方式を、令和3年度で検討します。



委員会調査での主な課題

- 防災無線の使用有無
- 難視聴世帯の対応
- スマホを所持していない世帯への対応
- 住民負担ができるだけ増えない移行と運用の検討
- ICTスキルが高い人材の採用
- 担当部署の設置



湯前町情報化計画の詳細はこちら



令和5年度で別システムへの移行が検討される宅内IP機器

企画経済建設常任委員会

3月12日

次の所管事務を調査しました。

◎新型コロナウイルス感染症に係る
商工業者支援策

委員長	遠坂 道太
副委員長	味岡 恭
委員	山下 力、金子 光喜、森山 宏

新型コロナの商工業者支援事業

国県町からの支援を令和3年度も継続

国県の商工業支援事業

	国	県
融 資	新型コロナウイルス感染症特別貸付	新型コロナウイルス感染症対応資金
	新型コロナウイルス対策マル経融資	金融円滑化特別資金
給付金 助成金	持続化給付金 ※終了	事業継続支援金 ※終了
	家賃支援給付金 ※終了	休業要請協力金 ※終了
	雇用調整助成金	雇用維持奨励金
	一時支援金	事業継続・再開支援一時金
その他	生産性革命推進事業補助金	中小企業者業態転換等支援事業

湯前町の商工業支援事業と執行状況 ※3月12日現在

支援事業		予算額	執行済額	執行率
支援金 補助金	商工業経営持続化支援金	5250万円	2187万4000円	42%
	休業要請等協力金 ※終了	290万円	206万円	71%
	感染防止設備等導入補助金 ※終了	450万円	318万9000円	71%
給 付	ゆのまえおいしか券 ※終了	754万円	716万1000円	95%
委託事業	商工会補助金(①+②)	1510万円	1420万円	94%
	①ふるさと商品券プレミアム付与事業	200万円	150万円	75%
	②ゆのまえ得々商品券事業	1310万円	1270万円	97%

令和3年度 湯前町の新たな商工業支援事業

支援事業		予算額
支援金 補助金	商工業経営持続化支援金	750万円
	感染防止設備等導入補助金	600万円
	雇用維持奨励金	150万円
	飲食店等PCR検査補助金	180万円
	宿泊施設支援事業	210万円
	新しい生活様式対応商品開発補助金	420万円
給 付	ゆのまえくらし応援券	2103万円
	ゆのまえもっとおいしか券	1199万円

議員派遣

国道219号三市町村による委員長会

令和3年度も整備要望を継続

西都市・西米良村・湯前町の議会で構成する三市町村議会国道整備促進合同協議会の委員長会が、4月9日、西米良村役場で開催されました。

会議では、令和3年度の事業計画などが協議され、本年度も国道219号整備の要望活動を、国・県に行うことが決定されました。なお、本町では、上里工区の歩道整備の早期完成を引き続き要望していきます。

本町からは、倉本議長と遠坂委員長(企画経済建設常任委員会)が出席しました。



三市町村による委員長会の様子

令和2年度町村議会新人議員研修会

初のオンライン開催に2人参加

3月26日

テーマ：「議会の制度と運営」

講師： 熊本県町村議会議長会 事務局長 古家 陽介 氏

熊本県町村議会議長会主催による新人議員研修に、西議員と吉田議員が参加しました。新型コロナウイルス対策として初めてのオンライン開催となり、湯前町役場の相談室からリモートで受講しました。

参加町村は、大津町・南阿蘇村・西原村・芦北町・あさぎり町・湯前町・球磨村の7町村で、参加議員数は20人でした。



オンライン研修を受ける新人議員

研修

令和3年度 一部事務組合の当初予算と町負担金

	当初予算	湯前町の負担金
公立多良木病院企業団	45億3574万円	1669万円
人吉球磨広域行政組合	16億4256万円	6372万円
上球磨消防組合	6億3600万円	8754万円

上球磨消防組合議会

上球磨消防署が完成

地域防災力の向上に期待

消防署敷地内の施設は3月末までに全て竣工し、4月27日に落成式が行われました。現在、新訓練棟などを使用した訓練が実施されています。また、「災害対応特殊水槽付消防ポンプ自動車」が3月24日に更新されました。(事業費5533万円)



完成した地域防災の拠点施設



災害対応特殊水槽付消防ポンプ自動車

<上球磨消防議員 森山>

人吉球磨広域行政組合議会

全施設の運転を再開したアクアパーク

令和2年7月豪雨災害から完全復旧

アクアパーク(汚泥再生処理センター)は、令和2年7月豪雨の洪水災害において、地下および地上1階の浸水により処理機能を損失する甚大な被害を受けました。

施設の復旧工事が順調に進捗し、予定どおり令和2年度内に全て復旧しました。

(写真の手前に万江川、左側に球磨川が流れています→)



完全復旧したアクアパーク

<広域行政議員 椎葉・西>

年4回にわたり、特集ページに関するテーマを設定し、住民の皆様からご意見をいただきます。

テーマ バスによる代替運行



人吉高校3年
岩野 桃子さん

○代替バスによる通学はいかがですか

初めの頃は全然慣れなくて、結構きついなと思っていました。でも、バスだと確実に座って登下校できるので嬉しいです。バス通学は、電車のとくと比べると、朝30分早く、夜は30分遅いので、生活のリズムを整えるのに時間がかかりました。

○改善してほしいことは

特に帰りのバスで、誰も降りない駅にもすべて立ち寄っているの、その時間をもつたいたないと思っています。

○くま川鉄道復旧に対するご意見は

本当に早く復旧してほしいです。なくなってしまってから思うことだけど、高校生にとって電車通は青春です。私はあと1年で高校を卒業するので、高校生のうちにまた、電車に乗れる日が来るのを待ち望んでいます。

テーマ くま川鉄道の復旧



古城区
北崎 由美さん
(写真は息子さん)

○くま川鉄道が被災しましたが

高校生のコロナ休校から再開して程なく、思いもつかない大水害が起こりました。私も高校3年間、汽車通学でしたが、川村の鉄橋もなくなり、鉄道が走っている美しい球磨の風景が見られなくなり、大変心が痛みます。

○不便なことはありますか

バス通学になり、始発は朝6時、最終は夜9時5分に湯前駅に着き、子供たちが夕飯を終えるのは、夜10時になります。とにかく時間のロスがあります。疲れて勉強もできず寝てしまいます。水上村の方は、もっと大変です。

○復旧に対する思いをお聞かせください

くま川鉄道の方には、毎日、早朝より大変ご尽力いただき感謝しかありません。私たちは、これからも球磨川と共に生きていかなければなりません。子供たちの明るい未来のため、1日も早く復旧できることを願っています。

「住民の声」にご協力いただける方は、議会事務局までお電話下さい。☎0966-43-4111(内線261)

編集後記

▶小・中・高の新生の皆さん、ご入学おめでとうございます。また、保護者の皆さま、まことにおめでとうございます。

▶敬老祝金の一部を高等学校などの通学費補助金にあていただき、おじいちゃん、おばあちゃんの温かいお心遣いに感謝しています。

▶新型コロナワクチンの接種が開始され、その効果が期待されるものの、いまだ収束が見通せない状況ですが、ウィズコロナを経て「チーム議会」として地域に貢献する議会に生まれ変わります。

(西)

◆議会広報調査特別委員会

私たちが編集しました。

委員長	森山 宏	副委員長	西 靖邦
委員	金子 光喜		椎葉 弘樹
	遠坂 道太		吉田 精二

